

④ ワークシートをもとに、考えを交流(ペア)させる。(5分)

T 「ワークシートをもとに、『もう走れない』が『どこまでも走れる気がした』に変化したのは何がきっかけなのか、話し合ってみましょう。話し合った後、ワークシート②に書き込んで、発表できるようにしましょう。」

※全体での話し合いの焦点化がはかれるよう、2人の考えをまとめ「のぶよが走れるようになったのは～」の後に、文を書き足す形式のワークシートを準備した。お互いの考えを伝え合い、相違点も認めながら、ワークシートにまとめられるようする。

★中心となる人物の気持ちがどこでどのように変わったのか考えながら読んでいます。(話し合い・ワークシート)

① 前時の学習を振り、本時のめあてを確認する。(5分)

T 「今日のめあては、3の場面を読んで、のぶよの走ることにに対する気持ちがどこで変わったかを読んでみましょう。」

※単元の導入で作成した場面ごとの出来事の表をもとに、のぶよにとって運動会はゆううつな日であることや走ることが苦手であることをおさえる。

◇ワークシート② (ペア学習用)

1 「もう走れない」気持ちが「どこまでも走れる気がした」に変化したのはなぜか。

のぶよが走れる気持ちになったのは、



どこまでも走れる気がした


ワークシート

三の場面  
もう走れない

教p56  
のぶよの顔

② 3の場面の前半(P56・4行目～P58・13行目)を音読する。(5分)

T 「のぶよの気持ちや様子を想像しながら段落読みをしましょう。」

※「走る」時の気持ちに着目しやすいうように本時では「短距離走」の部分を取り上げるようにした。

③ のぶよの気持ちの変化をワークシートにまとめ、変わったきっかけを考える。(10分)

T 「のぶよの気持ちを表す言葉を教科書から抜き出し、変化のきっかけを考えてみましょう。」

※書かれている内容を抜き書きすることで、気持ちの変化をつかみやすいワークシートを準備した。さらに設問2で、けんじとお母ちゃんの声援が、変化のきっかけであることに気づかせたい。

⑤ 2人で交流した内容をもとに、全体で話し合う。(10分)

T 「友だちのワークシートを見て、気持ちが変わったわけを発表して下さい。」

○予想される反応

- 「けんじやお母ちゃんの声援が聞こえたから」
- 「2人が仲直りしたことが分かったから」
- 「いろんな思いがするほどけてすっきりしたから」

⑥ 学習を振り返り、本時の感想をノートにまとめる。(7分)

T 「本時の学習を振り返って、のぶよやけんじ、お母ちゃんに言ってあげたいことを書いておきましょう。」

○予想される反応

- 「かけっこはビリでも、ほこらしい気持ちになれて良かったね。」
- 「けんじとお母ちゃんが、仲直りできて良かったね。」
- 「走ることが苦手なはずなのに、どこまでも走れるような気持ちになってすごいね。」

※単元の後半で、登場人物に宛てた手紙を書く際に、参考になるように、毎時間「登場人物に言ってあげたいこと」を書き綴るようにさせる。

⑦ 次時の学習について知る。(3分)

T 「明日は、走り終わった後ののぶよの気持ちや様子を読んで、第一場面ののぶよの気持ちと比べてみましょう。」

◇ワークシート① (1人学習用)

1 気持ちが表れている言葉を書き込み、のぶよの気持ちの変化をつかむ。

① のぶよのしんぞうの音が、

② 頭の中が

③ 体が

④ 一生けん命走ろうとすればするほど

⑤ 思わず

⑥ 体からみついていたいろんな思いが

⑦ どこまでも

2 「もう走れない」気持ちが「どこまでも走れる気がした」に変化したのはなぜか。



